

働く場はいろいろ！ 障がい者の就労

働き方は多種多様。企業に直接就職して働く以外の働き方もあります。手段の1つが「就労継続支援事業」です。就労継続支援事業は「A型」と「B型」の2種類あり、開成町には「B型」の事業所があります。

A型とB型の違いは？

A型

- ・最低賃金以上の給与
- ・雇用契約を結ぶ
- ・企業就労をめざす など

B型

- ・作業に応じた工賃
(工賃は最低賃金より低い)
- ・雇用契約は結ばない
- ・A型へ移行や企業就労をめざす など

企業に就労

自立に向けたステップ

就労するかは人それぞれです。その人にあったペースやスタイルで利用できます。



就労定着支援

就職

就労移行支援

職場見学・実習

就労トレーニング(基礎づくり)

町の就労継続支援 B 型事業所を紹介！

NPO 法人 あしたば 地域作業所 合力の郷

合力の郷は、就労継続支援B型・就労移行支援事業所として就労準備をサポートするだけでなく、就職後の就労定着サポートまで担っています。



長い期間でサポートしたい

自分自身を知る

町広報紙・回覧物のセットやアルミ缶回収、自動車部品の袋詰めなど、多種多様な作業を請け負っており、毎回様々な作業に取り組んでもらっています。就職したとき、どのようなことが得意で、どのようなことが苦手か自分自身の障がいを知ってもらうためです。

作業には、職員も一緒に加わります。作業の大変さを職員が体験することで、利用者の気持ちを理解したいと思っています。

施設長 古見 智弘 さん

就職、その先も

就労継続支援B型事業所は就労準備の場で、就労移行支援、さらに就労定着支援とサービスを切りかえていきながら徐々にステップアップしていきます。

その段階のなかで、定期的に本人や会社等と面談し、本人の気持ちを確認するようにしています。

ただ、就職することがすべてではないと思うので、自立できるよう、一つでもできることを増やして卒業してほしいです。